

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、8～19℃台を示し、やや低い～平年並みの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網――シケと月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の2.2倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり44kgの水揚げで、前週の37%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり130kgの水揚げで前週の10%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、サンマなどが1日1統当たり462kgの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり785kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり188kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり130kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ブリが1日1統当たり12kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年並み）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイなどが1日当たり60kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/25～1/30）の沖合イカ釣は、船凍船が竹島周辺海区及び青森県沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び浜田・隠岐周辺・新潟沖・山形沖・青森県沿岸にかけて出漁した。境港基地の小型イカ釣船 2日6隻入港、総計485箱、1航海最高150箱、平均80.8箱、スルメ（20入）485箱。

（漁業情報サービスセンターより）